





第3学年 国語科学習指導案

1 単元名

「筋道を立てて、話そう」

2 単元計画

時	1・2・3	4（本時）	5・6・7・8
ねらい	資料を読み取ることができる（習得）		交流し、組み立てを考えて発表することができる（活用・探究）
学習内容	○資料の読み取り方を学ぶ。 ○資料を読み取り自分の考えをもつ。		○読み取ったことの共通点や相違点を考える。 ○効果的な発表の筋道を考える。
	○個人で資料を読み取る。 ○ペアや個人で考察する。		○グループで交流し、全体を考察する。
I C T	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書 資料の読み取り  	<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み取り メモ資料作成 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の可視化 個の思考の再構築   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 個人のタブレットP Cを持ち寄り、グループで話し合い </div>

3 「小中一貫教育」を通して、具体化する視点

（1）指導内容の「系統性」

第1・2学年	身近なことや体験したことを中心に話す。 大事なことを落とさずに興味をもって聞く。
第3・4学年	相手や話す目的などを明確し、根拠や事例を挙げながら話す。 話の中心に気を付けながら、自分の考えと比較して聞き、感想や質問を述べる。
第5・6学年	目的や意図に応じて、話の構成を工夫し、事実と感想、意見とを区別しながら話す。 自分の考えとの共通点や相違点、関連した考えなどを交えながらまとめる。
第7・8・9学年	相手や場面意識を明確にし、自分の経験や知識を整理して、説得力のある話をする。 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。

既習事項の確認

話すこと・聞くこと	I C T（ロイロノート）
第1学年：絵を見ながら型に合わせてたずねたり、質問に答えたりする。 第1学年：気持ちを話した後にわけを話すことができる。 第2学年：伝えたいことについて、必要な材料を集め、話す順序を考えて丁寧な言葉遣いで話すことができる。 第2学年：自分が考えた道具について、相手に分かるように話す事柄の順序を考えて話すことができる。 第3学年：互いの共通点や相違点を整理し、司会や提案などの役割を果たしながら話し合うことができる。 第3学年：図や資料に基づいて話し合い、分かったことや考えたことについて、筋道を立てて話す。	第1学年：クイズをいくつか作り、答えが徐々に分かるように文章を入れ替えることで、大事なことを落とさず話し、意欲的に取り組んだ。 第2学年：空想の道具をお絵かき機能で描き、友達と説明や質問を繰り返し交流する中で、絵も変化していく。絵の変化が、話す内容の構成や順序を練り直す手だてとなった。 第3学年：発表機能を生かして、クラブ活動を同学年に紹介する活動を行った。インタビューから得た情報を整理し、より分かりやすく見せていくためには、要点を整理することが分かった。

(2) 指導法の「連続性」

第2学年では、ICTで作った絵をもとに交流することで、絵や会話が練り直され、話した内容について絵を通して可視化することができた。第3学年では、図やグラフから考えたことをタブレットPCにメモ書きして交流することで、共通点や相違点が可視化させたい。また可視化した内容を文章の再構築に活用させ、相手にとって分かりやすい内容になるような手だての一つとしたい。

①つまづきと指導の工夫

- (1) 個人での考えや読み取りが苦手な児童には、考える視点やリード文を活用してメモを書くことができるようにしていく。
- (2) グループでの交流では、タブレットPCを見せ合うことで、相違点や共通点が全員で確認できるように色分けなどをして、話合いの過程を分かりやすくしていく。

②きちんと身に付けさせておく内容・学びのつながり

- (1) 自分の考えを述べる際に、根拠や事例を挙げて話すことができるようにさせる。
- (2) 話の中心に気を付けながら聞き、質問や感想をもつことができるようにさせる。

4 本時（8時間扱いの4時間目）

(1) ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	見通しをもつ 知識・技能を習得する	自分の考えを形成する	互いの考えを比較する	
タブレットPC	 	 	 	

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 本時の学習の流れを確認し、学習のめあてをつかむ。	・本時のめあてを確認させる。
資料から考えたことを伝え合おう	
2 資料から考えたことをメモする。	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことや考えたこと、疑問などをグループの友達に伝える。 ・交流をしながら、観点別に背景の色を変えることで、相違点に注目させていく。＜問い直し＞ ★自分の考えたことを友達に伝えることができる。 ★互いの考えの相違点などを知ることができる。
3 互いの考えの共通点や相違点をまとめる。	
4 交流より気付いたことを発表する。	
5 本時の学習を振り返る。	・文章の組み立てに生かすことができる発言を取り上げる。